

B-5 信頼に基づくリーダーシップ どんなに正しいことを言っても人は動かない

株式会社小倉広事務所
代表取締役 小倉 広

ワークショップ

【セミナーの狙い】

プロジェクトマネジメントにおいては多くの人を動いてもらう必要がある。クライアント、メンバー、外部パートナーなど。私たちは人を動かす際に、ついつい理屈で説明をしてしまいがちだ。しかし、どんなに理が通っていることを伝えても人は動かない。なぜならば人は信頼で動くからだ。

本セミナーでは、人を動かすリーダーシップの源泉が信頼であることを実感し、いかにして信頼を築き上げるかを学びます。

【セミナーコンテンツ】

- ・EPホランダーが提唱した信頼蓄積理論に基づくリーダーシップとは?
- ・リーダーシップとマネジメントの違いとは?
- ・信頼を築く3つの法則とは?
- ・プロジェクトメンバーとの信頼度診断テスト ほか

【受講をお勧めする方】

プロジェクトメンバー、クライアント、外部パートナーなどに動いてもらう必要のあるPMほかすべての方へ

【講師略歴】大学卒業後、リクルート課長、ソースネクスト常務取締役などを経て現職。大企業の間管理職、公開前後のベンチャー企業役員、中小企業の創業オーナー社長と、あらゆる立場で組織を牽引。しかし、リーダーシップ不足からチームを束ねることに失敗し二度のうつ病に。一連の経験を通じて「リーダーシップとは生き様そのものである」との考えに至る。著書「任せる技術」(日本経済新聞出版社)など約30冊。

B-6 チームビルディングの罫:ポピュリズム 現場のコンフリクトはなぜ起り、どう解決するか

PS-WG 代表 松尾谷 徹
富士通株式会社 松田 浩一
東京工業大学 特認講師 森本 千佳子

SIG

【セミナーの狙い】

ITシステム開発の現場では、これまで、高度な技術の壁や大規模が故のコミュニケーションパスの多さから困難な状況が発生していた。近年、技術的な面では様々なツールやフレームワークの発達、大規模という面ではある程度の規模に分割するなどの工夫が見られるが、コスト低減やコンプライアンスの面から参加企業間のコンフリクトによる困難が増大している。

これらの問題は明示的に測定することが難しく、これをどのように把握し、解決していくかについて、現場の事例や、教育現場での事例を交えて解説する。

【セミナーコンテンツ】

PS研究会/IT-SIGの研究成果等

【受講をお勧めする方】

従来ある西歐的、規範的なプロジェクトマネジメント手法に不満を感じているプロジェクトマネジャー
人材育成や人間力に関心のある方

【講師略歴】PS研究会:2002年設立のプロジェクトにおけるメンバーシップ(パートナー満足)研究を行う任意団体。
松尾谷 徹:PS研究会代表 NECのPM出身 法政大兼任講師、有限会社デバッグ工学研究所代表。/松田 浩一:PS研究会 測定FST主査 富士通PM作業を担当し現在に至る。/森本 千佳子:PS研究会 TIS入社後、システム開発のSE、トラブルの火消し、PMOを経て現在に至る。

B-7 経済成長の行方を握る女性活用とは 成長戦略に影響を与える女性活用事例を探る

TIS株式会社 執行役員 小野田 祐子
株式会社日立ソリューションズ 労政担当部長 久永 美砂
ロイヤルブルーティージャパン株式会社 代表取締役 吉本 桂子
株式会社エイチアイ・シス 代表取締役 石川 博子

ワークショップ

ワークショップ

【セミナーの狙い】

2013年、アベノミクスで経済成長が期待されており、その中で、労働力供給構造が激変する10年後を見据え、IT業界で実践されている女性活用事例で、いかに企業の成長戦略に貢献しているのか、現場の生の体験などで理解を深める。また、実際に意思決定している女性起業家から、結果の出し方などを探る。洞爺湖サミットやAPECなどで献上される超高級茶やJALのファーストクラス機内食で提供されるお茶をワインボトルで提供し、販売している。いかにこのような超高級茶が売れているのか。

【セミナーコンテンツ】

- ・TISの女性活躍を推進する事例報告
- ・日立ソリューションズの現場での体験報告
- ・ロイヤルブルーティージャパンのビジネスでの成功事例報告
- ・パネルディスカッション

【受講をお勧めする方】

- ・マネジャー、リーダー

【講師略歴】小野田 祐子:1980年に大学を卒業後、TIS(当時の東洋情報システム)に入社。開発部門や人事部を経て2005年に人事部長を経て、2008年には初の女性執行役員に就任。/久永 美砂:1986年4月、日立コンピュータコンサルタンツ株式会社(現 日立ソリューションズ)入社。システム事業部などを経て、ダイバーシティ推進センター長・労政担当部長に至る。/吉本 桂子:2006年5月より現会長とロイヤルブルーティージャパンを創業。手摘みで水だしの超高級茶をワインボトルで提供。おもてなしとして「茶宴」をプロデュース。/石川 博子:ゲーム会社を経て1990年有限会社設立。1998年6月、システム開発の株式会社を設立し、現在に至る。

B-8 計画力で時代に勝つ 「実行」に効く計画の技術

エム・アイ・アール株式会社
ディレクター 浦 正樹

ワークショップ

【セミナーの狙い】

「実行できない計画」とは、日程や作業工程、予算などを列挙しただけで、実現性や必然性が明らかでない計画のことだ。隅から隅までメリハリなく計画する人がいるが、これを実行に移したところで、遠からず頓挫するに違いない。スポーツやものづくりに「技術」があるように、計画には「計画の技術」がある。計画の種類に関係なく、プロジェクト計画にも、事業計画にも共通に使える技術だ。今回は、実行に効く計画の立て方についてお話しする。

【セミナーコンテンツ】

- ・実行に効く計画とはどんな計画か
- ・計画の立て方とフレームワークの選び方…組立タイプと配分タイプ
- ・着目すべき3つの要因…前提・重点・新規要因
- ・目的と整合する目標の設定
- ・簡単な事例演習

【受講をお勧めする方】

- ・プロジェクト計画やさらに上位(プログラムやビジネス)の計画を担当される方

【講師略歴】横浜国立大学工学部卒。自動車メーカーでの設計、SEなどを経てコンサルタントに転身。外資系コンサルティングファームで勤務後、数年前までマイクロソフトに在籍。キャリアを通じて計画マネジメントの導入・実践に関わり、その過程で、日本の組織や現場と向き合ってきた。事業計画からプロジェクト計画まで、その作成と落とし込み、実践フェーズのマネジメントに関するサービスを提供している。

B-9 ITプロジェクト成功のための構想企画 しっかりしたビジョンと構想企画が命運を分ける

株式会社アイ・ティ・イノベーション
取締役 兼 専務執行役員 能登原 伸二

【セミナーの狙い】

ビジネスに役立つ情報システムを構築するための肝となる構想・企画フェーズは、プロジェクト成功のためにも重要なフェーズであることを理解してもらおう。

【セミナーコンテンツ】

1. プロジェクト失敗の要因
2. IT構想・企画を取り巻く現状
3. IT構想・企画とは
4. 要求の取りまとめ(Why)フェーズ
5. 要求の整理方法
6. 業務・システムの概要定義(What)フェーズ
7. 実現シナリオの策定(How)フェーズ

【受講をお勧めする方】

ユーザ企業でITの構想・企画に携わる方
ベンダーで提案に携わる方
ITプロジェクトのPMや関係者

【講師略歴】名古屋工業大学情報工学科卒業(1983年3月)。石油会社の情報システム部門において、長年、情報システムの企画、開発、運用までの幅広い業務に携わった。現在は、ITプロジェクトにおけるPM及びPMOの運営支援、また、IT構想・企画などの超上流工程支援なども幅広く手がける。常に顧客と共に考え、行動し、成果を上げることをモットーとしている。名古屋工業大学 情報工学科非常勤講師、PMP®

B-11 変化に対応するアジャイル・プロジェクトマネジメント 従来手法との違い、成功するリーダーシップ像を探る

株式会社チェンジビジョン 平鍋 健児
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ 神部 知明
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 柴山 洋徳
株式会社ビーエム・アライメント モデレーター 佐藤 義男

パネル

【セミナーの狙い】

今、企業を取り巻く環境変化はスピードを増しており、企業はこの変化に柔軟に対応する仕組みが求められている。本パネルディスカッションでは、アジャイル型開発とマネジメント事例を取り上げ、新しいリーダーシップ像を探る。さらに、日本への普及・定着のポイントを討論する。

【セミナーコンテンツ】

- 1.IT新市場におけるアジャイル開発事例紹介
- 2.従来型開発との違い
- 3.アジャイル型開発が日本に普及するためには
- 4.アジャイル型開発の教育支援のあり方
- 5.アジャイル・プロジェクトマネジメント

【受講をお勧めする方】

「アジャイル思考」による製品やサービス開発に関心のある方
PM資格取得者

【講師略歴】平鍋 健児:10年のアジャイル開発経験を持ち、著書『アジャイル開発とスクラム』など多数。/神部 知明:IT新市場の開拓プロジェクトにて、アジャイル開発実践中。/柴山 洋徳:Scrumの全社的な組織導入、グローバルグループ会社への展開、人材育成およびScrum導入プロジェクトのコーチングを担当。/佐藤 義男:現在、企業向けにPMコンサルティング・サービス(PM教育、PMO業務支援、アセスメント支援)を提供。

B-10 デザイン思考によるイノベーション実践 21世紀型のマネジメント手法を体系的に学ぶ

一般社団法人デザイン思考研究所
所長/代表理事 柏野 尊徳

ワークショップ

【セミナーの狙い】

イノベーション・プロセスを推進させる上で有用なデザイン思考について、プロジェクト・マネジメントの観点から理解。スタンフォード大学の知見を踏まえた講演と、参加者同士でグループを組むワークショップ実践を用意。デザイン思考の理論と実践について、その概要をコンパクトな形で体験できる。

【セミナーコンテンツ】

- 1) デザイン思考に関する基礎知識について30分程度の講演
- 2) デザイン思考のプロセスをグループ形式で体感できる90分のワークショップ
- 3) デザイン思考マネジメントに関する意見交換、質疑応答

【受講をお勧めする方】

プロジェクト・メンバーが自主的に課題発見し、解決策の提案・実行を行うようマネジメントしたいマネジャー/イノベーション実践・新規事業創造の共通言語として、社内でデザイン思考を活用したい経営者、上級管理者/組織の創造性を高めたい人事担当者

【講師略歴】専門はイノベーション。スタンフォード大d.schoolでイノベーション手法:デザイン思考を学ぶ。同大発行『デザイン思考家知っておくべき39のメソッド』監訳。岡山大学大学院で3年間教鞭を執り、慶應SFCを拠点にイノベーション教育の研究と実践に専念。デザイン思考のセミナー開催や企業向け教育プログラムの開発・研修を行う。慶應義塾大学SFCデザイン思考研究会/社団法人デザイン思考研究所 所長。

